

(1) ごみの排出状況等

区 分		① 令和元年度 (基準年度)	② 令和7年度 (中間目標)	③ 令和4年度	③-① 増減	③-② 増減
家 庭 系	可燃ごみ	19,187t	-	19,135t	▲ 52t	-
	不燃ごみ	2,488t	-	2,373t	▲ 115t	-
	ごみ計	21,675t	20,300t	21,508t	▲ 167t	1,208t
	資源物	899t	-	934t	35t	-
	集団資源回収	5,857t	-	4,898t	▲ 959t	-
	資源計	6,756t	7,800t	5,832t	▲ 924t	▲ 1,968t
	家庭系合計	28,431t	28,100t	27,340t	▲ 1,091t	▲ 760t
事 業 系	可燃ごみ	9,632t	-	9,246t	▲ 386t	-
	不燃ごみ	927t	-	863t	▲ 64t	-
	事業系合計	10,559t	9,500t	10,109t	▲ 450t	609t
総 合 計		38,990t	37,600t	37,449t	▲ 1,541t	▲ 151t
目 標 値 比 較	1人1日当たり 総排出量	891g	872g	864g	▲ 27g	▲ 8g
	1人1日当たり 排出量(家庭系)	650g	650g	631g	▲ 19g	▲ 19g
	リサイクル率	22.9%	26.0%	20.6%	▲2.3%	▲5.4%
	最終処分率	5.4%	5.3%	5.4%	0.0%	0.1%

(2) 施策の取り組み状況

基本方針	施策	主な取り組み状況
基本方針 1 2Rを優先した 3Rの推進	1-1) 食品ロスの削減	・江別市食品ロス削減推進計画の策定(R5.3) ・「てまえどり」の啓発(R5年度)
	1-2) プラスチックごみの削減	・SNS等による啓発(R3.11)
	1-3) 効果的なリユース手法の検討	・ジモティーと連携したリユースの実施(R4.1)
	1-4) 集団資源回収の推進	・リサイクルセンターでのカレットびん受入拡大(R4.7)
	1-5) 民間事業者との連携による事業ごみの資源化	・給食残渣の飼料化(実施中) ・事業系食品残渣の堆肥化(事業者と調整中)
基本方針 2 きれいな まちづくりの推進	2-1) 環境教育の推進	・小学校での買い物ゲーム等の出前講座の開催 ・小学生向け食品ロス削減推進計画冊子の配布(R5.6)
	2-2) ごみ出しルールの徹底	・SNSによるごみに関する情報発信 ・ツイッター(R3.11) ・市のLINE(R4.12)
	2-3) 地域等との協働による環境保全	・公共ごみ袋のサイズの検証(継続)
	2-4) 不法焼却(野焼き)・不法投棄の防止対策	・新たに民間事業者と協定締結(R4.11)
	2-5) ごみステーションパトロールの強化	・実施中(継続)
基本方針 3 安心して安定的な ごみ処理の推進	3-1) ごみ出し困難者に対する収集方法の検討	・ごみサポート収集の実施(R2.10) ※ R5.4.1現在の利用件数 208件)
	3-2) ごみ処理手数料減免方法の検討	・減免方法の検討(R5年度 予定)
	3-3) 環境クリーンセンターの延命化の実施	・延命化工事の実施(R4年度～R7年度) ・新最終処分場の基本設計(R5年度)
	3-4) ごみ処理施設の安心・安全な運営	・長期包括委託の更新(R4.4)
	3-5) 非常時における廃棄物対策	・収集委託業者及び環境クリーンセンター運営業者と連携(随時)
基本方針 4 経済的・効率的な ごみ処理の検討	4-1) 適正で効率的なごみ収集運搬体制の検討	・土曜日の収集廃止(R2.10) ・農村地区の可燃ごみ収集日拡大(R2.10) ・更なる適正収集等の検討(R5年度 予定)
	4-2) 適正なごみ処理手数料の検討	・市の使用料・手数料見直し(R5年度 予定)
	4-3) 安全な環境クリーンセンター直接搬入方法の検討	・日曜日の直接搬入廃止(R3.4)
	4-4) 資源物収集品目等拡大の検討	・環境クリーンセンターのごみ処理を踏まえ、検討(継続)
	4-5) ごみ処理の広域化の検討	・近隣自治体等との情報交換(随時)
《その他》 継続事業の検証	古着・古布及び小型家電の拠点回収	・事業の在り方を検討(R5年度 予定)